

## 研究データ作業部会 2019 年度活動報告

主査：結城 憲司

### 1. 2019 年度活動計画

- (1) 研究データの公開、流通促進を図るため、データベースレスキュープロジェクトを実施する。
- (2) 新学習管理システム（仮称「学認 LMS」）による研究データ管理に関するオンライン講座の試験運用を実施する。
- (3) 若手研究者向けの研究データ管理に関する教材を作成する。【年度開始後変更（追加）】
- (4) その他
  - ・当初計画の「研究データに対応した機関リポジトリの役割・機能要件のとりまとめ」と「研究データ利用評価指標の実務指針の翻訳」は中止【年度開始後変更（中止）】
  - ・予算状況を見ながら、検討中であった「教材理解に役立つオープンサイエンス関係の用語集の翻訳・公開」は中止【年度開始後変更（中止）】
  - ・大学 ICT 推進協議会（AXIES）研究データマネジメント部会による RDM 事例形成プロジェクトへの協力

### 2. 会合・活動状況（4～3月）

- (1) 全体活動
  - ・5月28日 JOSS2019 にて「JPCOAR による RDM 人材育成の取り組みと今後の展開」報告
  - ・6月26日 第1回部会ミーティング（場所：国立情報学研究所）
  - ・11月14日 図書館総合展フォーラムにて「研究データ管理のための教材作成」報告
  - ・12月16日 第2回部会ミーティング（TV 会議）
  - ・2020年2月7日 第3回 SPARC Japan セミナーにて報告
  - ・2020年2月27日 第3回京都大学研究データマネジメントワークショップにて報告
  - ・2020年3月頃 第3回部会ミーティング（TV 会議）
- (2) データベースレスキュープロジェクト
  - ・7月-8月 レスキューするデータベースの具体的な選定
  - ・9月-12月 各機関でリポジトリへの登録  
（DBを作った研究者・研究グループとの相談、デジタルアーカイブとの切り分けの検討、適宜 WG メンバーへ相談・情報共有、問題点・課題の蓄積）
  - ・2020年1-2月 課題の集約と整理
  - ・2020年3月末 ケーススタディの結果を簡単なレポートにまとめる
- (3) 学認 LMS による研究データ管理に関するオンライン講座の試験運用
  - ・7月16日 参加機関募集
  - ・8月23日 募集締切（応募機関：22 機関）
  - ・9月11日-12日 機関管理者向けの説明会（TV 会議）

- ・ 9月-12月 試験運用
  - ・ 12月18日 学認 LMS 報告会
  - ・ 2020年3月 試験運用報告書
  - ・ (2020年度以降 学認 LMS の正式運用開始)
- (4) 若手研究者向け教材作成
- ・ 8月 若手研究者向け教材に先行的に取り組んでいる千葉大学にヒアリング
  - ・ 10月30日 第1回若手研究者向け教材作成ミーティング (TV会議)
  - ・ 12月2日 第2回若手研究者向け教材作成ミーティング (TV会議)
  - ・ 12月18日 学認 LMS チームとの打合せ
  - ・ 11月-2020年3月 若手研究者向け教材作成

### 3. 成果物 (予定も含む)

- ・ データベースレスキュープロジェクトレポート (仮題) (2020年3月予定)
- ・ 学認 LMS による研究データ管理に関するオンライン講座の試験運用報告書 (2020年2月予定)
- ・ 若手研究者向け教材 (試行版) の作成 (2020年3月予定)

### 4. その他

#### (1) 2019年度活動計画の変更について

6/26に開催した2019年度第1回研究データ作業部会ミーティングにおいて議論した結果、当初計画を次のとおり変更することにした。

#### 【当初計画】

- 1) 研究データを公開する基盤の整備に向けて、機関リポジトリの役割、機能要件について取りまとめる。
- 2) 研究データの機関リポジトリへの受入・公開のベストプラクティスを事例にもとづいて検討するため、データベースレスキュープロジェクトを継続する。
- 3) 研究データの評価指標に関する実務指針“Code of Practice for Research Data Usage Metrics Release 1”を翻訳し、公開する。
- 4) RDMトレーニングツールの理解の助けになる用語集等を作成し、公開する。また、RDMトレーニングツールの機関運用の試行に取り組む。

#### 【変更後の計画】

- 1) 研究データの公開、流通促進を図るため、データベースレスキュープロジェクトを実施する。【当初計画2】
- 2) 新学習管理システム (仮称「学認 LMS」) による研究データ管理に関するオンライン講座の試験運用を実施する。【当初計画4の後半部分】

3) 若手研究者向けの研究データ管理に関する教材を作成する。【新規】

【変更理由】

- ・ 当初計画 1) については、研究データに関する具体的な取組が限られている現状では、機関リポジトリの役割や機能要件を取りまとめるのは困難であり、実態とかけ離れてしまう可能性がある。今年度は取りまとめを見送ることとし、「JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 年度」の最終年度である 2021 年度までには、特に役割については取りまとめることを目指したい。
- ・ 当初計画 3) については、実務指針の次のバージョンも予定されていることが明言されており、この実務指針が必要となるのもしばらく先になると予測されることから、翻訳を見送ることとした。
- ・ 変更後の計画 3) については、現在提供されている研究データ管理に関するオンライン講座はサイズが大きく、気軽に受講できないという問題があり、時間の限られている研究者にも気軽に受講しやすいコンテンツの再構築を目指すもの。

【その他】

- ・ 当初計画 4) の前半部分については、予算状況を見ながら用語集の翻訳を検討したが、教材理解に繋がる内容が限られ、優先して翻訳する必要は低く、10 月に中止することとした。

## コンテンツ流通促進作業部会 2019 年度活動報告

主査：高橋 菜奈子

### 1. 2019 年度活動計画

- (1) JAIRO Cloud 開発に資する情報提供を行うとともに、参加機関の利用のサポートをする。
- (2) 現行の SCPJ から JPCOAR サイトへの移行を行い、オープンアクセスのインフラを整備する。
- (3) コンテンツ収集のために効果的な方法を検討するため、統計分析等によって現状を調査する。
- (4) JPCOAR スキーマの普及・維持管理を継続して実施する。

### 2. 会合・活動状況 (4~3 月)

- ・ 6 月 18 日 全体ミーティング (第 1 回) (場所：国立情報学研究所)

全体を 4 つのチームにわけて、活動することとなった。

- ・ JAIRO Cloud チーム (前田<副主査>、上原、下城、林和宏、林正治、朝岡、林豊、新妻)
- ・ SCPJ チーム (佐藤<副主査>、松村、大谷、林正治、林豊)
- ・ コンテンツ収集チーム (前田隼<副主査>、泉、西岡、河合)
- ・ メタデータチーム (加藤<副主査>、片岡、田口、新妻)

以下、各チームの活動状況

#### (1) JAIRO Cloud チーム

- ・ 新 JAIRO Cloud 移行実験のため、JPCOAR 参加機関の中から協力機関を募集。大学・研究所 10 機関に加えコミュニティ作業部会が実験に参加
- ・ 9 月 4 日 第 1 回テレビ会議  
新 JAIRO Cloud 移行実験の実験内容及び参加機関のサポートについて検討。  
NII から開発の遅れ・新 JAIRO Cloud 評価用環境の準備状況についての報告あり。実験時期が 12 月末までずれ込むことになった。
- ・ 10 月 8 日 新 JAIRO Cloud 評価用環境の提供
- ・ 10 月 10 日 第 2 回テレビ会議  
移行実験環境及び検証内容の確認、現時点で判明している懸案事項のフォローを実施。
- ・ 10 月 31 日 第 3 回テレビ会議 (予定)  
初期評価環境における検証内容についてヒアリングの実施、今後あらたに提供される評価環境での移行実験について打合せ。

- ・ 11月14日 図書館総合展フォーラム発表
- ・ 11月14日 移行実験参加館打合せ  
移行実験参加館との状況共有
- ・ 12月19日 第4回テレビ会議
- ・ 12月 実験終了
- ・ 12～3月 報告書作成(予定)
- ・ 2月13日 地域ワークショップ(中四国地区)協力
- ・ 3月6日 次期JAIRO Cloud 移行説明会協力
- ・ 3月17日 JPCOAR 総会での報告

## (2) SCPJ チーム

- ・ 6月26日 現 SCPJ 上のコンテンツ(ポリシー以外の PDF 等)の抽出済
- ・ 8月9日 現 SCPJ のデータ抽出・加工済
- ・ 移行後のデータ提供方法について Google スプレッドシートに決定。
- ・ 11月 現 SCPJ サイト上で移行について掲出。  
<http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/index/>
- ・ 12月4日 第1回テレビ会議  
次年度以降の運営体制・データ更新の方向及び移行スケジュールについて確認。
- ・ 10～3月 広報・移行作業(予定)
- ・ 10～1月 データ更新の方策を検討(予定)

## (3) コンテンツ収集チーム

- ・ 8～10月 GreenOA の実態把握のためのインタビュー調査  
17機関を対象に実施
- ・ 6月28日 第1回テレビ会議  
インタビュー調査計画の策定
- ・ 8月21日 第2回テレビ会議  
インタビュー調査にあたっての最終確認
- ・ 11月12～14日 図書館総合展ポスター発表、フォーラム発表
- ・ 12月25日 コンテンツチーム データ分析分科会  
グリーン OA 状況調査報告, Unpaywall のデータ分析を含む
- ・ 2月13日 地域ワークショップ(中四国地区)協力
- ・ 3月17日 JPCOAR 総会への協力  
インタビュー調査対象機関を中心に、グッドプラクティスの情報共有のための講演会を実施
- ・ 10～2月 調査報告書とりまとめ

#### (4) メタデータチーム

- ・ JPCOAR スキーマの改訂及び JPCOAR スキーマガイドラインの改善に向けた検討を実施中
- ・ 8月 JPCOAR スキーマガイドラインの改訂手順を整理
- ・ 8月～ 人材育成作業部会で検討している専門研修（技術セミナー）への協力
- ・ 10月10日 第1回打合せ  
2019年度 JPCOAR スキーマ改訂内容の検討及び確定  
JPCOAR スキーマ改訂時の対応手順、スケジュールの確認
- ・ 11月27日 JPCOAR スキーマ ver.1.0.2 リリース
- ・ 11月～1月 JPCOAR スキーマの改訂に伴う日英ガイドラインの修正
- ・ 11月～3月 デジタルアーカイブ対応に向けた情報収集
- ・ 1月～3月 NII・JST・NDL でメタデータの相互運用に関する WG への協力

### 3. 成果物（予定も含む）

- ・ 片岡朋子「JPCOAR スキーマが支えるデータ引用」（5月27日 JOSS2019）  
[https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019\\_rdc\\_05.pdf](https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/joss2019_rdc_05.pdf)
- ・ 前田朗「JAIRO Cloud 実証実験の中間報告」（11月14日図書館総合展フォーラム）  
[https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?action=repository\\_uri&item\\_id=208&file\\_id=16&file\\_no=4](https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=208&file_id=16&file_no=4)
- ・ 河合将志「コンテンツ収集インタビュー調査報告」（11月14日図書館総合展フォーラム）
- ・ 図書館総合展ポスター発表「オープンアクセスを支えるコンテンツ流通：JPCOAR における JAIRO Cloud、SCPJ、メタデータ、コンテンツ収集の取り組み」（11月）  
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000183/>
- ・ JPCOAR スキーマ ver.1.0.2（改定内容：<https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/history>（11月27日））
- ・ JPCOAR スキーマ英語版ガイドラインの修正（1月）
- ・ 国立大学図書館協会中国四国地区協会・JPCOAR ワークショップ（2月13日）  
河合将志「コンテンツ収集のための方策 分析・調査報告」  
前田朗「新 JAIRO Cloud (WEKO3) 移行評価実験報告」
- ・ 次期 JAIRO Cloud 移行説明会での JAIRO Cloud 実証実験の報告（3月6日）  
前田朗「移行実験の概要」、林和宏「参加機関からの報告（1）」
- ・ JPCOAR 総会での報告（3月17日）  
河合将志「機関リポジトリ・インタビュー調査報告（仮）」
- ・ JAIRO Cloud 実証実験の報告書（3月予定）
- ・ GreenOA の実態把握のためのインタビュー調査報告書（3月予定）
- ・ SCPJ 移行の完了（3月予定）

#### 4. その他

- ・昨年度のメタデータ普及タスクフォースの成果の公表

「IRDB データ提供機関のための DOI 管理・メタデータ入力ガイドライン : JPCOAR  
スキーマ編」 <http://id.nii.ac.jp/1458/00000135/>

「IRDB データ提供機関のための DOI 管理・メタデータ入力ガイドライン : junii 2 編」  
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000185/>

## 1. 2019 年度活動計画

- (1) 協会 HP、Facebook、情報誌 CoCOAR での情報提供及び情報発信を行う。
- (2) JAIRO Cloud コミュニティサイトによるサポートを継続するとともに、現有のウェブサイトやコミュニティツールのあり方を整理し、新 JAIRO Cloud への移行に伴う次年度以降のサイト運営計画を作成する。
- (3) JPCOAR の活動成果普及、地域単位でのコミュニティ活性化をはかるため、図書館総合展のフォーラム開催及び地域でのイベントプログラムを実施する。
- (4) 会員機関のグッドプラクティスを情報誌やイベントで取り上げて情報共有を図るとともに、取り組みへの支援策を検討する。

## 2. 会合・活動状況 (4~3 月)

- ・ 4 月 27 日 CoCOAR 7 号 公開
  - ・ 5 月 27 日 JOSS2019 ポスター出展
  - ・ 5 月 30 日 NII オープンフォーラム運営協力、パンフレット改訂
  - ・ 6 月 3 日 第 1 回ミーティング (場所：国立情報学研究所)
  - ・ 6 月 20 日 国立大学図書館協会総会ブース出展 (岡山大学)
  - ・ 7 月 31 日 定例ミーティング (TV 会議 以降月 1 回で開催)
  - ・ 8 月 29 日 私立大学図書館協会総会資料提供 (帝京大学)
  - ・ 9 月 3 日 CoCOAR 8 号公開
  - ・ 10 月 Twitter アカウント (@jpcoar) 開設、SNS 運用マニュアル策定  
オープンアクセスウィーク特設サイトの設置 (参加機関の活動紹介、機関リポジトリ担当者インタビュー等の実施)  
[https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/index.php?page\\_id=128](https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/index.php?page_id=128)
  - ・ 10 月 24 日 SPARC Japan セミナー運営協力  
(11 月 12 日、12 月 20 日、2 月 7 日も)
  - ・ 11 月 14 日 図書館総合展フォーラム 参加者総数 167 名
  - ・ 12 月 16 日 CoCOAR 9 号公開
  - ・ 12 月 WEKO3 移行評価実験参加
  - ・ 1 月 30 日 群馬県地域共同リポジトリ移行ワークショップ (企画協力)
  - ・ 2 月 13 日 JPCOAR ワークショップ「OA + x = OS」開催予定 (岡山大学)  
国立大学図書館協会中国四国地区協会と共催、参加 66 名
  - ・ 3 月 CoCOAR 10 号公開予定
  - ・ 3 月 6 日 次期 JAIRO Cloud (WEKO3) 移行説明会 (広報協力)
  - ・ 3 月 17 日 グッドプラクティス普及イベント開催予定 (JPCOAR 総会の一部)
- サイト英訳調整、コミュニティツールの試行



## 人材育成作業部会 2019 年度活動報告

主査：杉田 茂樹

### 1. 2019 年度活動計画

- (1) オープンアクセス、オープンサイエンスを推進する人材に求められるスキル抽出を行う
- (2) 対象者、目的に合わせ、研修体系の再構成を行う

### 2. 会合・活動状況 (4~3 月)

- ・ 4~5 月 COAR コンピテンシーリストの翻訳と分析
- ・ 5 月 30 日 「駆け込み！ DSpace 等から JAIRO Cloud (現 WEKO) への移行相談会」(10 機関 12 名参加)
- ・ 7 月 8~9 日 RCOS ミーティングへの参加、意見交換 (杉田)
- ・ 7 月 25 日 作業部会ミーティング開催
- ・ 7 月 26 日 第 1 回機関リポジトリ新任担当者研修 (会場：NII)
- ・ 7 月~8 月 COAR 解説論文の翻訳、COAR への通知
- ・ 9 月 30 日 第 2 回機関リポジトリ新任担当者研修 (会場：武庫川女子大学)
- ・ 現在進行中：COAR コンピテンシーリストの分析等に基づき、新任研修の見直し、専門研修の立案に着手中。今後、検討領域ごとに小規模な検討会を実施予定

### 3. 成果物 (予定も含む)

- ・ COAR コンピテンシーリスト及び解説論文 日本語訳 (10 月中予定)
- ・ 2020 年度研修計画 (総会において公表予定)

### 4. その他

今年度はじめて新任担当者研修を関西地区を会場として開催した。西日本の会員機関にとって参加しやすい機会となったものと考えられる (別紙参照)。

以上

各回の参加者所属機関（都道府県別）

